

## 次年度のための地区研修協議会 報告 No.2<広報、公共イメージ部門>

報告者:戸高 豊文

田村アドバイザーより「いかにロータリー以外の人へロータリーのことを知らせるかが重要だ」との意見から始まりました。しかし、その後の各委員会の報告は雑誌 委員会では『ロータリーの友』のパワーポイントを利用した説明や、IT 委員会からは Facebook の加入のお願いや、My Rotary の参加の仕方などが続きました。みなさんあまり興味がわかない様子でした。私にも意見を求められましたので次のようにお話ししました。

日本国民が1年に電話をかける回数は約1000億回です。一人1日約2.6回になります。ですから電話の最後にロータリーイベントへの参加、例会への参加を話してみたらどうか。またメールの発信も一日5通くらいが平均。メールの最後の署名にロータリーこのことを書くようにしたらどうか、などと発言しました。

最後に大迫アドバイザーから「まずは身内(妻や家族)にロータリーのことを知ってもらいましょう。『ロータリーの友』も家族で共有しよう。夫婦で例会にも参加してみよう」との意見がありました。

感想として最初の田村アドバイザーのお話のようにまだまだ考えれば「ロータリー以外の人へロータリーのことを知らせる方法」は見つかりそうです。

## 次年度のための地区研修協議会 報告 No.3<SAA>

報告者:小牧 正英

### 1.全体での名刺交換会

### 2.自己紹介

### 3.川原 SAA アドバイザーからの講話

- ・SAA は Sergeant-at-arms の略で、会場監督という意味を持ち、英国王室・議会の守衛官に語源を発する。
- ・初代 SAA は 1960 年、シカゴクラブのポール・ハリス、マックス・ウォルフ、チャールス・ニュートンである。
- ・役割として、司会進行、入退場の許可、遅刻早退の承認拒否、卓話の時間励行、警告や退場命令等である。
- ・SAA には会長経験者 or 地区役員経験者を登用することが望ましい。
- ・例会場だけではなく、研修等の会場も監督すべき。
- ・行きたくなる例会場作りや、メーキャップ指導も行う。
- ・ロータリアン以外のゲスト来訪者への配慮も必要。

## 次年度のための地区研修協議会 報告 No.4<クラブ管理部門(出席、フェロシップ委員会)>

報告者:西 幸司

6グループに分かれて各自意見を出してグループ代表者が発表する。トラディショナルクラブの皆さんの出席向上の意見を取りまとめると、例会時間に仕事が入るなどで、時間調整が付かないなどの理由などがあって欠席する、そこで欠席者に FAX、電話、メールなどでメイクアップをお願いする、時には一緒に他クラブに連れて行くなどと、無断欠席をしない様に連絡をする。欠席者が多い例会は、雰囲気が悪くなり、負の連鎖が始まるので対策として、会員同士の親睦を深めて 例会で会員 と会うのが楽しみになる内容にする為に、①名前で呼び合う、②行事、奉仕活動などで参加を促す声かけをする、③夜の例会(情報交換会、ノミネーションなど)、④家族参加の例会を持つ、⑤出席表を提示する、⑥メイクアップ参加費の半額をクラブが負担する、⑦新入会員には担当先輩を付ける、⑧同好会活動をする(ゴルフ、釣り、1泊旅行などを計画する)などの発表をされました。そこで E クラブは、Facebook などを利用して、他 RC の行事や奉仕活動や会員が集まる時に短い時間でもリアルタイムミーティングなどを開催して親睦深めている事を説明しました。そこでメイクアップが楽に出来る E クラブを利用して下さいと言いましたが、自クラブが出席率100%を達成しないというのでは話しになりませんので、今年度11回も100%を達成しているクラブも有りました。皆さん出席率100%を近日中に達成しましょう。